

あ　と　が　き

本年度は会員の皆様の積極的な御投稿によって、総説4編、原著14編、報告5編の合計23編の論文を収録することができました。また、この他に2月17日開催された「地域開発と水問題」のシンポジウムの講演集も本号の別冊としてお届けすることができました。会員の皆様の御協力に感謝致します。

信州大学環境問題研究教育懇談会の研究業績集（信州大学環境科学論集）は出版されてから今年で12年目になります。今まで継続してきたこの論集も、昨年の11年目を節目に、業績集の体裁を統一し、「環境科学年報 信州大学」とし、英文名も「The Annals of Environmental Science Shinshu University」とし、今年度は新しい体裁になってから2年目であります。投稿論文の内容についても、各学部から1名ずつの編集世話人によって内容のチェックが行われ、名実ともにこの方面の発展の素地ができたと言えます。

環境科学の分野は、ゴルフ場や水問題に象徴されるように、自然保護と開発の問題など地域住民の生活と密接に関連する分野から、研究室で実験するような専門的な研究分野に至るまで、その適用範囲は非常に巾広いものであります。したがって、本年報の編集にあたっては、報告の内容についていろいろな御意見が寄せられました。今後も、会員の皆様の積極的な御意見によって、この年報がさらに充実し発展してゆくように育て上げていただきたいと思います。

平成2年3月12日

酒 井 秋 男